

国立大学法人弘前大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 全体評価

弘前大学は、エネルギーに関わる豊富なポテンシャルや原子力施設及び核融合関連施設、地球温暖化・環境に関わる世界自然遺産白神山地、食糧危機・食の安全に関わる食糧基地等を有する青森県の特性を、大学の教育、研究及び社会貢献の中心課題として、世界と地域に対し、人材の育成と情報の発信を行うことを目標としている。第2期中期目標期間においては、国内外の各領域でのリーダーとなり得る高度専門職業人を育成すること等を目標としている。

この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、英語圏及びアジア圏への短期留学等を必修とする「HIROSAKI はやぶさカレッジ」を開校するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

(戦略的・意欲的な計画の状況)

第2期中期目標期間において、緊急被ばく医療を担う地域の求める特色ある人材の養成を目指した、戦略的・意欲的な計画を定めて積極的に取り組んでおり、平成25年度においては、放射線看護における高度で実践的な看護師の養成を目指した「放射線看護高度実践看護師養成プログラム」の開発と教育環境の整備を進めるとともに、国内外の関係機関との情報交換を行ったほか、青森県内の原子力関連施設、医療施設及び行政機関等に従事する現職者を対象に、米国の「放射線緊急時支援センター・研修施設 (REAC/TS)」での海外研修を実施する等、原子力災害に備えた救急医療や防災行政に携わる地域リーダーの育成等に取り組んでいる。

(機能強化に向けた取組状況)

総合大学の特色を生かし、分野を超えた連携によるイノベーションの創出を目的に、「研究・イノベーション推進機構」を設置し、全学的な研究推進体制を整備したほか、年俸制適用職員給与規程を新たに制定し、平成26年4月に年俸制を適用した教員を採用することを決定している。

2 項目別評価

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化)

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- これまで行ってきた「岩木健康増進プロジェクト」におけるコホート研究や脳疾患研究を、青森県、ライフ関連企業と連携してさらに推進するため、新たに「COI 研究推進機構」を設置し、青森県の職員を本機構の専任教員として採用するとともに、平成26年度から URA (リサーチ・アドミニストレーター) を2人採用することを決定し、産

学官の連携強化を図っている。また、研究開発を推進し、分野を超えた連携によるイノベーションの創出を図ることを目的に、「研究・イノベーション推進機構」を設置し、全学的な研究推進体制を整備している。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 16 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

- (①外部研究資金、その他の自己収入の増加、②経費の抑制、
③資産の運用管理の改善)

平成 25 年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 若手研究者（40 歳以下）が一人で取り組む将来の発展が期待できる独創的な研究課題に対し研究費を助成する「弘前大学若手研究者支援事業」の推進等の取組を行ったことにより、平成 25 年度の科学研究費助成事業の「若手研究 (B)」の採択件数については、89 件（対前年度比 20.3%増）、採択金額は、1 億 1,140 万円（対前年度比 11.2%増）と向上している。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 6 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

- (①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進)

平成 25 年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 平成 25 年度教員業績評価の実施において、大学情報データベースシステムの改修を行い、学外の論文データベース (PubMed 又は CiNii) に登録されている論文データの取り込みを可能にし、教員のデータ入力にかかる負担の軽減を図っている。
- 全学の学生を対象に、大学の魅力をアピールした CM 映像作品を募集する「弘前大学学生企画コンテスト」を新たに実施し、3 作品を表彰するとともに、大学のウェブサイトで公開し、学生自身の企画力の向上や独創性の育成を図るとともに、学生目線での新たな情報発信を行っている。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 6 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

(①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守)

平成 25 年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 東北地区の 7 国立大学法人（弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学及び福島大学）において、「大規模災害等発生時における東北地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定書」を締結し、被災大学において応急措置及び教育研究活動等の復旧・再開が困難な場合に、大学間の連携により迅速かつ的確な支援を行うための体制を整えている。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 19 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

II. 教育研究等の質の向上の状況

平成 25 年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 教養教育改革を推進するため、教育推進機構において教育課程・授業内容の検証を行い、学生の人間基礎力を育成する教養教育を目指して、「弘前大学人としての Identity の醸成」、「人間基礎力の育成」及び「学びの転換」をコンセプトに、今後の教養教育に関する全学的な基本方針「教養教育の在り方について～未来を切り拓くことのできる力を育成する弘前大学～」を策定し、全学での共有を図っている。
- 医学部保健学科検査技術科学専攻において、平成 21 年 4 月に「細胞検査士養成課程」を設置し、東北・北海道で唯一の養成機関として、全国的に数が不足している細胞検査士の育成を行っており、平成 25 年度は、細胞検査士資格認定試験に二期生（4 人）全員が合格し、平成 24 年度卒業の一期生（6 人）に続き、2 年連続で合格率 100 %となっている。
- 世界で活躍するグローバル人材を育成するため、大学の経費負担による英語圏及びアジア圏への短期留学、英語による修了研究などを必修とし、実践的な英語力の向上、国際感覚などを育成する「HIROSAKI はやぶさカレッジ」を新たに開校し、平成 25 年

度は、一期生として5人の学生が入校し、協定校であるニュージーランドのオークランド工科大学で約4週間の短期留学を行っている。

- 青森県の産業振興及び地域振興を図るため、県内企業等が実用化研究に取り組み、抱えている具体的な課題について、教員とともに技術開発、製品開発する地域企業への支援事業として「弘大 GOGO ファンド」を実施し、平成 25 年度は新たに4件を採択しており、平成 24 年度から継続して支援を行ってきた2件のうち、1件が弘大白神酵母を用いたリンゴ酢として商品化に結びつき、平成 25 年6月から販売を開始している。
- 福島県浪江町役場二本松事務所内に「弘前大学浪江町復興支援室」を設置し、浪江町への甲状腺専門医の派遣や健康相談支援を行ったほか、汚染農地への除染植物「ネピアグラス」栽培による実証実験の開始や浪江町役場全職員を対象とした放射線の基礎知識等に関する研修会を開催している。

附属病院関係

(教育・研究面)

- 看護職教育キャリア支援センターにおいて、看護実践力及び教育力の育成・向上を図ることを目的とした「HiroCo (Hirosaki Competent) ナース育成プラン」を継続して実施し、クリニカルラダー（看護師の専門的知識や技術の段階的到達目標を設定し、評価するためのシステム）を完成させ、併せて評価表及び運用マニュアルを整備し、運用を開始したほか、青森県内外の医療機関から急性期医療・看護の実習等として看護師等9名、皮膚排泄ケア認定看護師教育課程の臨地実習として看護師2名を受入れ、地域における看護活動拠点としての役割を担っている。

(診療面)

- 高度な医療を提供するため、ICU を8床から16床に増床し、平成 25 年8月より稼働を開始しており（平均患者数310名/月）、内科から外科までの中・長期集中治療管理を必要とする患者や、侵襲度が大きく術後集中管理を必要とする患者を集約化し、重症患者への治療の充実等が図られている。

(運営面)

- 医療技術職員（臨床検査技師、診療放射線技師、理学・作業療法士、臨床工学技士等）の効率的かつ適切な人員配置による病院経営の効率化と医療サービスの向上に資するため、医療技術部を設置し、併せて医療技術部長が新たに病理科長会の委員となり、病院の管理・運営に参画することになったほか、医療技術部講演会及び医療技術部各部門の相互訪問を実施し、医療技術職員間の連携強化を図っている。